

とうきょう すくわくプログラム 活動報告書

社会福祉法人 清涼会 多摩小ばと保育園
1歳児クラス ひよこ組

1.活動のテーマ：五感

<テーマの設定理由>

水やセンサリートイ等で感触を楽しむ姿見られたことから、触るだけでなく、匂いや見た目の変化などを体験しながら、身近な食材への関心を広げられないかと考えた。

2.活動のスケジュール

- 8～9月 ①果物・野菜に触れる。
切った食材を干して、変化を観察する。
- 10月 ②干した果物・野菜を画用紙の上で潰す。
- 11月 ③野菜スタンプ・果物スタンプを楽しむ。
- 12月 ④園庭の夏みかんを収穫して、観察する。
- 1月 ⑤4歳児と一緒に、出汁の素材に触れる。

3. 活動のために準備した素材や遊具、 環境の設置

<食材の触れ合い体験>

野菜、果物、包丁、まな板、干しカゴ、バット、
調味料入れ、画用紙、スタンプ台

<出汁取り体験>

乾燥しいたけ、煮干し 鰹本節、昆布、
鰹削り器、調味料入れ

4.探求活動の実践 8月・9月

①野菜や果物に触れる、匂いを嗅ぐ



乾燥した食材を調味料入れに入れ置いておくと、自由に手に取り、匂いを嗅ぐ、おままごとにする（スパイスを振りかける仕草をする）などの姿が見られた。

◎活動中の子どもの姿・声など

匂いの強い「しいたけ」「たまねぎ」「ピーマン」や「みかん」「りんご」を用意した。丸ごと触った時には、手に持つだけでなく頬につけて感触を楽しむ子もいた。カットした食材を保育室内に干すと、保護者の方も一緒に観察を楽しんでいた。1か月後「みかん」「りんご」は良い香りがしたが、「りんご」はベタベタになっていた。Kくんは「しいたけ」と「みかん」がお気に入り。ずっと鼻の下に当てていた。しいたけは石づきよりも笠の方がいい匂いだったようだ。

乾燥した野菜や果物を調味料入れの中に1種類ずつ入れ、保育室に置くと、自由に手に取り匂いを嗅いでいた。

4.探求活動の実践 10月

②果物・野菜を画用紙の上で潰す。



◎活動中の子どもの姿・声など

子どもたちは「オレンジ」「ブロッコリー」「ブルーベリー」「ラズベリー」を一つずつ手に取り、匂いを嗅いだ。「オレンジ」の匂いを嗅いでKくんは「いいにおい」Hさんは「うまい」と言う。「ブロッコリー」の匂いを嗅いで「くさい」と言う子もいた。食材を一週間室内で干した後、画用紙に押し付けて色を出してみる。「ラズベリー」「ブルーベリー」は水分が抜けてしまい、力を入れないと潰れない物もあった。「ブロッコリー」は全く色が出ず、「いろがでないね」と残念そうに話す子もいた。

4.探求活動の実践 11月

③野菜スタンプ、果物スタンプ

※写真はパプリカ



◎活動中の子どもの姿・声など
野菜や果物を切った断面でスタンプ遊びをした。「チンゲン菜」「パプリカ」「レモン」「レンコン」を用意した。まず丸ごとの食材を渡すと、慣れた様子で、すぐに匂いを嗅ぎ始める子もいた。
「パプリカ」は種が多く、野菜スタンプにして画用紙に押しとたくさんの種が写り、それを指を差して驚く子もいた。匂いが強いのは「レモン」だけで、他ははっきりとした匂いを表す言葉は聞かれなかった。

4.探求活動の実践

12月

④夏みかんの収穫



◎活動中の子どもの姿・声など

園庭遊び中に、園庭にある「夏みかん」の木に実がなっていることに気づき、いつ収穫できるか楽しみにしていた。担任が「夏みかん」の収穫を告げると、子どもたちは担任の所へ飛んできた。目の前で収穫したばかりの「夏みかん」を渡されると、交代で「夏みかん」を手に取り、神妙な面持ちで匂いを嗅いでいた。

「くんくん」と言って、早く匂いを嗅ぎたいとアピールする子もいた。前に収穫していた「夏みかん」の皮は固くなっていて、取り立ての「夏みかん」は柔らかかった。その違いを知らせてみたが、関心は示さなかった。

4.探求活動の実践 1月

⑤出汁取り体験（4歳児の希望者と一緒に）



昆布



干しいたけ



鰹節



煮干し

煮干し...粉々になるのが楽しい

◎活動中の子どもの姿・声など

昆布、煮干し、乾燥シイタケ、本節、花がつおの5種類を用意した。各食材を一つひとつ触ってみた。初めての食材に興味を持つ子、苦手な食材は「くさい」と言う子など、反応は様々。

4.探求活動の実践 1月

⑤出汁取り体験 (4歳児の希望者と一緒に)



4歳児は「色が変わったみたい」と気づく。気になる出汁を味見したり、午後のおやつのでんご飯に出汁をかけて食べた。出汁茶漬は大人気で3回お代わりをする子もいた。



おもしろかったものはどれかな？

しょうゆ	にぼし	鰹節	ごん茶
			
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

すずねん

自分はどの出汁が好きか？
どれを食べたか？シールを貼ったところ、鰹節が一番人気だった。鰹節を削ったものを食べて「ベーコンみたい」と言う幼児もいた。

5.振り返り

- 身近な「野菜」「果物」「出汁」をサブテーマにしたことで、1歳児でも探求活動を楽しむ姿が見られた。
- 五感を意識した活動を取り入れていくと、「手で触る」「匂いを嗅ぐ」という行動が子どもたちの中に自然に表れるようになっていったことに驚かされた。自発的に手触りを試したり、匂い嗅ぐ姿も多く見られるようになり、その触り方・匂いの嗅ぎ方にも個性があることを知った。
- 今でもおままごとコーナーには「しいたけ」のボトル(①の匂いを嗅ぐボトル)が置いてある。調味料などに見立て遊ぶ子もいれば、ボトルに鼻をつけて匂いを確認している子もいる。
- 出汁取り体験は、昨年度経験のある4歳児を誘ってみた。「日本食」の基本である4種類の出汁を、味わうだけでなく、形・大きさ・固さを「見る」「触る」、削る時の音を「聴く」匂いを「嗅ぐ」など五感を総動員して楽しめる体験だった。
- 思いを言葉で表すことが難しい月齢ではあるが、表情からその子の内面を読み取り、仮の問いを立てて取り組んできた。子どもがどんなことに興味を持ち、どんな気持ちなのかを担当同士で確認し合い、子ども理解を深めることが出来た。